

意見等

テーマに関する意見、現状、課題および要望などを記入してください。

(現状と問題点)

- ・公募の参加が少ない。
- ・市民の関心が低い
- ・参加者の魅力不足
- ・問題意識が低い
- ・ボランティア意識が低い
- ・活動のマンネリ化、慣例化
- ・協働ができていない分野とできていない分野がある
- ・無関心層が多い
- ・若者の関心度をアップする方法の検討
- ・現行のパブリックコメント制度に寄せられる意見が少ない
- ・公募への参加が少ない。委員の固定化、マンネリ化

- ・自分たちでまちづくりができる施策が必要
- ・情報の浸透具合を把握することが重要
- ・PRが下手、周知不足

(これからの市民参画と協働)

- ・若いリーダーの出現の期待(育成)
- ・高齢者の参加
- ・まずは、先進事例をまねること
- ・成功事例の紹介
- ・生涯学習の充実
- ・NPO等の活用
- ・泉南市ABC委員会との協働

- ・財政支援が必要
- ・施設の整備
- ・協働の役割分担を明確化すべき(どちらが行うのか、行う必要があるのか)
- ・参画と協働を促す仕掛けづくりが必要

- ・協働の役割の明確化
- ・高齢者を活かす人材バンク制度の創設
- ・有償ボランティア制度の創設
- ・セミナー(勉強会)の開催

実現するためには

- ・若者のまちづくりへの参画、若者と高齢者とのつながりを構築
- ・子ども、若者、高齢者とのつながりの強化
- ・青少年の参画を促進するため、学校への働きかけが重要 **新たなまちづくり人財の確保**

- ・参画する場の確保 ・市民が集まる場所(施設)の整備と日常的な活用が重要
- ・審議会等の委員の公募制度を創設
- ・魅力ある行事の企画 ・市民活動への財政支援が必要
- ・市民が参画しやすい仕組みの整備 ・市民が参画する仕掛けづくり
- ・専門窓口の設置 ・有償ボランティア制度の創設 ・高齢者を活かす人材バンク制度の創設
- ・条例で市民参画を義務付ける
- ・市民提案制度の条例化 ・検討結果の公表 **参画と協働を促す仕掛けづくりが重要  
参画する機会の確保・保障**

- ・市民への施策をわかりやすく周知する
- ・テーマごとに行政と市民との集会を開催 ・セミナー(勉強会)の開催
- ・パブリックコメントに関する事前広報の強化
- ・情報発信方法の工夫(見せる、楽しい、わかりやすい) **市民の関心を高める  
情報発信等による市民の啓発**
- ・市民の啓発が重要

- ・協働の役割分担を明確化すべき(行政と市民のどちらが行うのか、行う必要があるのか)

まとめ

- ・市民は、市と協働のまちづくりを進めるため、新たな人材の確保に努める。
- ・市は、市民と協働のまちづくりを進めるため、協働機会の拡充、人材の育成、組織・拠点・ネットワークづくりなど、多様な仕組み(制度)を整備する必要がある。
- ・市は、市民と協働のまちづくりを進めるため、参画の機会を保障しなければならない。
- ・市は、あらゆる機会を捉えて情報発信や公表を実施し、市民の関心を高め、協働のまちづくりへの参加意識の高揚に努める必要がある。

